任天堂 ファミリーコンピュータ™

囲碁指南'94

資料提供／日本棋院

取扱説明書

HCT-IR／020

このたびは、㈱ヘクトのファミリーコンピュータ用カセット、「囲碁指南'94」をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みになって、正しい使用方法でお楽しみください。

■使用上のご注意

●ご使用後はACアダプタをコンセントから必ず抜いておいてください。

●テレビ画面からできるだけ離れてゲームをしてください。

●長時間ゲームをする時は、健康のため、1時間ないし2時間ごとに10分～15分の小休止をしてください。

●精密機器ですので、極端な温度条件下での使用や保管および強いショックを避けてください。また絶対に分解しないでください。

●端子部に手を触れたり、水にぬらすなど、汚さないようにしてください。故障の原因となります。

●シンナー、ベンジン、アルコール等の揮発油でふかないでください。

目　次

囲碁指南'94

「名局観戦」と「棋力判定」

このソフトには、全119局収録されています。このすべての棋譜を使って、「名局観戦」や「棋力判定」をプレイすることができます。

■名局観戦

このソフトに収録の棋譜をじっくりと観戦することができます。「名局観戦」には、操作することなく自動的に対局が進む「自動モード」とプレイヤーのペースで一手ずつ対局を進める「手動モード」があります。

■棋力判定

名棋士たちの「次の一手」を読んで盤面に打ちながら対局を進めていきます。その正解率でプレイヤーの棋力を判定します。「棋力判定」にはヒントのでる「中級」とヒントのでない「上級」があります。

コントローラーの操作方法

※コントローラーⅠでゲーム中の操作を行います。ジョイスティックは使用できません。

Aボタン	・選択したコマンドの実行や次の画面への進行。 ・「観戦(1)」(自動観戦)のとき、ゲームの中断や再開。
Bボタン	・選択したコマンドのキャンセルや「観戦」モードの設定変更。 ・「判定」モードのとき、ゲームの中止。
スタートボタン	・ゲームのスタート。
セレクトボタン	・ゲーム中の音声の消去。
✚ボタン	・コマンドの選択カーソルの移動。 ・「判定」モードのとき、石を打つ位置の指定カーソルの移動。

スタート

電源を入れるとタイトル画面があらわれます。スタートボタンを押して、ゲームをはじめます。

■モードの選択

タイトル画面でスタートボタンを押すと、右のようなモードの選択画面があらわれます。名局をじっくりと観戦する「名局観戦」か、名棋士の「次の一手」を推察し、あなたの棋力を試すことができる「棋力判定」か4つのモードの中から選択します。✚ボタンでカーソルをあわせ、Aボタンを押します。

それぞれのモードの詳細は次のページをご覧ください。

観戦(1)

自動による観戦モードです。このモードでは自動的に対局が進みます。

観戦(2)

手動による観戦モードです。このモードでは、コントローラーⅠのAボタンを押すごとに1手ずつ対局が進みます。

判定(1)

中級コース(5級以上から4段以下)の棋力判定モードです。このモードでは「次の一手」のヒントが盤面に最大5つまで表示されます。この中から、「次の一手」を推察して打ちます。(ヒント以外のところには打てません。また、まれに禁じ手にヒントが出る場合があります。)

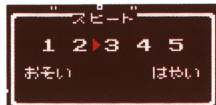
判定(2)

上級コース(2段以上から7段以下)の棋力判定モードです。このモードでは、ヒントが表示されません。盤面の中から「次の一手」を推察して打ちます。

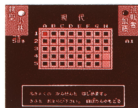
名局観戦

本ソフトに収録されている棋譜を観戦するモードです。自動的に対局が進む「観戦(1)」とAボタンを押すごとに1手ずつ進む「観戦(2)」があります。

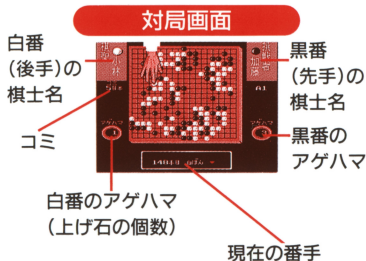
自動のときはスピードを選択する

「観戦(1)」を選択すると右のような画面があらわれ、対局が進むスピードを5段階の中から選択することができます。あらかじめ「3」に設定されていますが、大きい数字を選ぶと速く、小さい数字を選ぶと遅くなります。

■棋譜を選択

観戦する棋譜を選択します。まず、棋譜の種類を選択し、次の画面でそれぞれの中から観戦したい棋譜を選択します。収録棋譜の詳しくは、13ページ以降をご覧ください。

◀棋譜の種類を選択します。✚ボタンでカーソルを合わせ、Aボタンを押します。

◀観戦したい棋譜を✚ボタンで選択し、Aボタンを押します。

■対局開始

観戦する棋譜を選択したら、いよいよ対局がはじまります。画面の見方は下の通りです。先手(黒番)の棋士は画面の下から、後手(白番)の棋士は画面の上から打ちます。「観戦(2)」の場合は、コントローラーⅠのAボタンを押して、1手ずつ棋譜を進めます。

対局中の一時ストップ

自動観戦「観戦(1)」では、観戦中に一時ストップすることができます。止めたいところで、Aボタンを押してください。再度Aボタンを押すと再開します。また、このほかにも対局中にさまざまな設定を変更することができます。次のページをご覧ください。

■対局中に設定変更

観戦中に下記のように設定を変更することができます。必要なときに、Bボタンを押すと右のように画面にウインドウがあらわれます。✚ボタンでカーソルをあわせ、Aボタンを押します。

▶1手もどす
はやおくり（もどし）
スピードを　かえる
このまま　つづける
中止する

●1手もどす

今打った手を、もう一度もどして確認することができます。

●はやおくり（もどし）

見たい局面からはじめることができます。このコマンドを選ぶと、下のようにサブウインドウが表示されます。✚ボタンで、見たい局面は何手目か入力し、Aボタンを押します。

000手目から　はじめる

◀✚ボタンで1ケタずつ入力します。上下で数が増減し、左右でケタが移動します。

●スピードをかえる(「観戦(1)」のときのみ表示されます。)

「観戦(1)」のとき、対局の進むスピードを変更することができます。最初スピードを設定したときと同じような方法でスピードを変更します。(→6ページ参照)

●このままつづける

誤ってBボタンを押したときなど変更する必要のないときは、このコマンドを選びキャンセルして観戦を再開させます。

●中止する

観戦を中止します。これを選択すると下のようなサブウインドウが表示され、「おわる」か「もういちどはじめから」か選ぶことができます。

▶おわる
もういちど　はじめから

おわる：ゲームスタート時のモード選択画面にもどります。
もういちどはじめから：観戦中の対局の一番最初にもどります。

棋力判定

本ソフトに収録されている棋譜を使って、あなたの棋力を試すことができます。中級コースの「判定（１）」と上級コースの「判定（２）」があります。

中級と上級

「次の一手」を読んで盤面に打ち、実際に棋士が打った手と照合しながら対局を進めます。その正解率で、対局終了後あなたの棋力を判定します。「判定（１）」は中級コース（５級以上から４段以下）で対局中１手ごとに最大５つまでヒントが盤面に表示されますが、「判定（２）」は上級コース（２段以上から７段以下）でヒントは表示されません。

■棋譜の選択

「観戦」の場合と同様な操作でプレイする棋譜を選択します。（→６ページ参照）

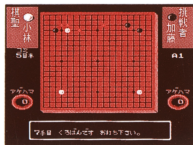
■黒（先手）・白（後手）を選択する

黒・白どちらの棋士でもプレイすることができます。✚ボタンでカーソルをあわせ、Aボタンを押します。

■対局開始

黒番を選ぶと6手目、白番を選ぶと7手目まで自動的に進みます。これ以降、「次の一手」を盤面に打ちながら対局を進めていきます。

中級はヒントがでる

「判定(1)」の場合、1手ごとにヒントが最大5ヵ所まで＋で表示され、その中から「次の一手」を選びます。ヒント以外のところに打つことはできません。「判定(2)」の場合はヒントは表示されません。

打つと正否の判定がでる

プレイヤーの選択した棋士の番になったら、「次の一手」を打つと推察したところに、✚ボタンで天元にあるカーソルを移動させ、Aボタンを押します。正解の場合は「正」の文字が、不正解の場合は※が表示され、その後自動的に正しいところに石が打たれます。

なお、ここでいう正解は、最善手ではなく棋士が対局で実際に打った手のことです。

■対局を中止する

対局を中止するときは、Bボタンを押します。サブウインドウの「はい」に✚ボタンでカーソルをあわせ、Aボタンを押します。途中で中止すると、その時点での正解率と棋力が表示されます。誤ってBボタンを押したときなど、中止する必要のないときは「いいえ」を選択して対局を再開させます。

■棋力判定

対局が終了すると、右のような画面にかわり、正解率と棋力が表示されます。正解率と棋力の関係はおよそ目安としてお考えください。Aボタンを押すと次の画面にかわります。

■もういちどはじめから／おわる

「もういちどはじめから」を選択すると、同じ対局を再度プレイすることができます。繰り返しプレイして、棋譜を覚えるときにこのコマンドを利用すると便利です。

「おわる」を選択すると、モードの選択画面にかわります。

収録棋譜一覧

「囲碁指南'94」には、以下の棋譜全119局が収録されています。

現代／'92年度７大タイトル戦（全38局）

A	1	第17期 棋聖戦 第１局 167手で加藤九段の中押し勝ち ●加藤正夫九段－○小林光一棋聖
	2	第17期 棋聖戦 第２局 282手で加藤九段の２目半勝ち ●小林光一棋聖－○加藤正夫九段
	3	第17期 棋聖戦 第３局 246手で小林棋聖の１目半勝ち ●加藤正夫九段－○小林光一棋聖
	4	第17期 棋聖戦 第４局 246手で加藤九段の半目勝ち ●小林光一棋聖－○加藤正夫九段
	5	第17期 棋聖戦 第５局 210手で小林棋聖の中押し勝ち ●加藤正夫九段－○小林光一棋聖

B	No.	対局	結果
B	1	第17期 棋聖戦 第6局 ●小林光一棋聖－○加藤正夫九段	218手で小林棋聖の半目勝ち
	2	第17期 棋聖戦 第7局 ●小林光一棋聖－○加藤正夫九段	131手で小林棋聖の中押し勝ち
	3	第17期 名人戦 第1局 ●小林光一名人－○大竹英雄九段	161手で小林名人の中押し勝ち
	4	第17期 名人戦 第2局 ●大竹英雄九段－○小林光一名人	259手で大竹九段の半目勝ち
	5	第17期 名人戦 第3局 ●小林光一名人－○大竹英雄九段	300手で小林名人の1目半勝ち

		対局	結果	対局者
C	1	第17期　名人戦　第4局	179手で大竹九段の中押し勝ち	●大竹英雄九段－○小林光一名人
	2	第17期　名人戦　第5局	169手で小林名人の中押し勝ち	●小林光一名人－○大竹英雄九段
	3	第17期　名人戦　第6局	275手で大竹九段の3目半勝ち	●大竹英雄九段－○小林光一名人
	4	第17期　名人戦　第7局	265手で小林名人の1目半勝ち	●大竹英雄九段－○小林光一名人
	5	第17期　本因坊戦　第1局	179手で小林棋聖の中押し勝ち	●小林光一棋聖－○趙　治勲本因坊

D	1	第17期　本因坊戦　第２局	158手で小林棋聖の中押し勝ち
		●趙　治勲本因坊－○小林光一棋聖	
	2	第17期　本因坊戦　第３局	145手で小林棋聖の中押し勝ち
		●小林光一棋聖－○趙　治勲本因坊	
	3	第17期　本因坊戦　第４局	271手で趙本因坊の８目半勝ち
		●趙　治勲本因坊－○小林光一棋聖	
	4	第17期　本因坊戦　第５局	132手で趙本因坊の中押し勝ち
		●小林光一棋聖－○趙　治勲本因坊	
	5	第17期　本因坊戦　第６局	191手で趙本因坊の３目半勝ち
		●趙　治勲本因坊－○小林光一棋聖	

E	1	第17期　本因坊戦　第７局　　217手で趙本因坊の７目半勝ち ●趙　治勲本因坊－○小林光一棋聖
	2	第30期　十段戦　第１局　　156手で武宮十段の中押し勝ち ●小林光一棋聖－○武宮正樹十段
	3	第30期　十段戦　第２局　　213手で武宮十段の中押し勝ち ●武宮正樹十段－○小林光一棋聖
	4	第30期　十段戦　第３局　　213手で小林棋聖の中押し勝ち ●小林光一棋聖－○武宮正樹十段
	5	第30期　十段戦　第４局　　193手で武宮十段の中押し勝ち ●武宮正樹十段－○小林光一棋聖

F	1	第18期 天元戦 第１局 ●林 海峰天元－○山城 宏九段	125手で林天元の中押し勝ち
	2	第18期 天元戦 第２局 ●山城 宏九段－○林 海峰天元	231手で山城九段の５目半勝ち
	3	第18期 天元戦 第３局 ●林 海峰天元－○山城 宏九段	256手で林天元の７目半勝ち
	4	第18期 天元戦 第４局 ●山城 宏九段－○林 海峰天元	228手で林天元の３目半勝ち
	5	第40期 王座戦 第１局 ●藤沢秀行王座－○小林光一棋聖	259手で小林棋聖の２目半勝ち

G		
	1	第40期 王座戦 第2局 136手で藤沢王座の中押し勝ち ●小林光一棋聖－○藤沢秀行王座
	2	第40期 王座戦 第3局 232手で藤沢王座の半目勝ち ●藤沢秀行王座－○小林光一棋聖
	3	第40期 王座戦 第4局 169手で小林棋聖の中押し勝ち ●小林光一棋聖－○藤沢秀行王座
	4	第40期 王座戦 第5局 238手で藤沢王座の5目半勝ち ●藤沢秀行王座－○小林光一棋聖
	5	第17期 碁聖戦 第1局 145手で小林光一碁聖の中押し勝ち ●小林光一碁聖－○小林 覚九段

H		
	1	第17期 碁聖戦　第2局　229手で小林光一碁聖の1目半勝ち ●小林　覚九段－○小林光一碁聖
	2	第17期 碁聖戦　第3局　214手で小林覚九段の4目半勝ち ●小林光一碁聖－○小林　覚九段
	3	第17期 碁聖戦　第4局　126手で小林光一碁聖の中押し勝ち ●小林　覚九段－○小林光一碁聖

※以上現代の棋譜はすべて黒番5目半のコミ出しです。

古典／本因坊道知編（全28局）

	No.	対局	結果
A	1	宝永２年11月 ●本因坊道知－○安井仙角	281手で道知の１目勝ち 半コウ黒ツグ
	2	宝永３年１月 ●本因坊道知－○井上因碩	252手で道知の３目勝ち
	3	宝永３年２月 ●本因坊道知－○井上因碩	283手で因碩の２目勝ち
	4	宝永３年２月 ●本因坊道知－○井上因碩	153手で道知の８目勝ち
	5	宝永３年３月 ●本因坊道知－○井上因碩	254手で道知の４目勝ち

B	1	宝永３年３月 ●本因坊道知－○井上因碩 226手で因碩の７目勝ち
	2	元禄14年11月 ●本因坊道知－○安井仙角 274手で道知の５目勝ち
	3	宝永３年４月 ●本因坊道知－○安井仙角 221手で道知の15目勝ち
	4	宝永３年６月 ●安井仙角－○本因坊道知 245手で道知の３目勝ち 半コウ黒ツグ
	5	宝永３年12月 ●安井仙角－○本因坊道知 264手で仙角の５目勝ち

C	No.	対局	結果
C	1	宝永３年 ●本因坊道知－○安井仙角	228手で道知の９目勝ち
	2	宝永６年10月 ●本因坊道知－○安井仙角	247手で道知の５目勝ち
	3	宝永７年11月 ●安井仙角－○本因坊道知	227手で仙角の２目勝ち
	4	正徳５年11月 ●本因坊道知－○安井仙角	223手で道知の５目勝ち
	5	享保元年11月 ●安井仙角－○本因坊道知	220手で仙角の２目勝ち

D	1	元禄15年11月 ●本因坊道知－○林　門入 227手で道知の７目勝ち
	2	宝永元年11月 ●林　門入－○本因坊道知 199手で道知の２目勝ち
	3	宝永４年12月 ●本因坊道知－○井上因節 229手で道知の６目勝ち
	4	宝永５年11月 ●井上因節－○本因坊道知 247手で因節の２目勝ち
	5	正徳３年11月 ●本因坊道知－○井上因節 206手で道知の５目勝ち

E	1	正徳４年11月　247手で因節の３目勝ち ●井上因節－○本因坊道知
	2	享保５年11月　236手で持碁 ●井上因節－○本因坊道知
	3	正徳元年11月　213手で道知の５目勝ち ●本因坊道知－○林　門入
	4	正徳２年12月　232手で門入の２目勝ち ●林　門入－○本因坊道知
	5	享保３年11月　202手で門入の３目勝ち ●林　門入－○本因坊道知

F		
	1	正徳４年　170手で道知の中押し勝ち ●堀部因入－○本因坊道知
	2	享保８年　108手で道知の中押し勝ち ●長谷川知仙－○本因坊道知
	3	宝永７年12月　193手で道知の中押し勝ち ●屋良里之子（三子）－○本因坊道知

古典／本因坊道的編（全10局）

		対局	結果
A	1	貞享２年 ●安井春知－○本因坊道的	272手で道的の３目勝ち 半コウ白ツグ
	2	天和２年 ●小川道的（二子）－○本因坊道策	92手で道的の中押し勝ち
	3	天和２年 ●小川道的－○本因坊道策	142手で道的の１目勝ち
	4	●小川道的－○桑原道節	223手で道的の４目勝ち
	5	元禄７年 ●安井春知－○本因坊道的	170手で道的の２目勝ち

		対局	結果
B	1	●本因坊道的－○安井春知	135手で道的の７目勝ち
	2	貞享元年12月 ●本因坊道的－○安井春知	273手で道的の７目勝ち
	3	貞享３年12月 ●安井春知－○本因坊道的	310手で春知の５目勝ち
	4	元禄元年12月 ●本因坊道的－○安井知哲	246手で道的の12目勝ち
	5	元禄２年12月 ●安井知哲－○本因坊道的	253手で道的の17目勝ち

古典/名人因碩編(全15局)

A	1	宝永3年正月 ●本因坊道知－○井上因碩 265手で持碁
	2	●桑原道節(二子)－○本因坊道策 217手で道策の中押し勝ち
	3	元禄3年12月 ●井上道節－○安井知哲 264手に道節の6目勝ち 半コウ白ツグ
	4	元禄4年12月 ●井上道節－○安井知哲 221手で道節の中押し勝ち
	5	元禄7年11月 ●井上道節－○安井知哲 228手で道節の5目勝ち

B			
B	1	元禄14年11月 ●安井仙角－○井上因碩	284手で因碩の11目勝ち
	2	●安井仙角－○井上因碩	200手で因碩の 6 目勝ち
	3	●閑碩－○桑原道節	194手で道節の中押し勝ち
	4	宝永 3 年 2 月 ●本因坊道知－○井上因碩	239手で因碩の 3 目勝ち
	5	宝永 3 年 2 月 ●本因坊道知－○井上因碩	259手で因碩の 3 目勝ち

		対局	結果
C	1	宝永３年２月 ●本因坊道知－○井上因碩	132手で因碩の中押し勝ち
	2	宝永３年３月 ●本因坊道知－○井上因碩	260手で因碩の２目勝ち
	3	元禄９年11月 ●本因坊策元－○井上道節	223手で策元の５目勝ち
	4	●桑原道節－○星合八碩	156手で道節の１目勝ち
	5	●桑原道節－○小川道的	128手で道節の３目勝ち

古典／本因坊元丈編（全28局）

A	1	文化元年11月　231手で元丈の９目勝ち ●本因坊元丈－○安井知得
	2	寛政２年５月　158手で元丈の中押し勝ち ●中野知得－○宮重元丈
	3	寛政５年３月　208手で元丈の５目勝ち ●宮重元丈－○中野知得
	4	寛政５年９月　247手で元丈の２目勝ち ●中野知得－○宮重元丈
	5	寛政６年６月　181手で元丈の２目勝ち ●宮重元丈－○中野知得

B	No.	対局	結果
B	1	寛政６年10月 ●宮重元丈－○中野知得	227手で元丈の４目勝ち
	2	寛政７年４月 ●中野知得－○宮重元丈	230手で元丈の７目勝ち
	3	寛政７年４月 ●宮重元丈－○中野知得	125手で元丈の中押し勝ち
	4	寛政７年８月 ●宮重元丈－○中野知得	211手で元丈の２目勝ち
	5	寛政４年２月 ●宮重元丈－○中野知得	193手で元丈の８目勝ち

	No.	対局	結果
C	1	寛政４年４月 ●宮重元丈－○中野知得	233手で元丈の12目勝ち
	2	寛政４年６月 ●宮重元丈－○中野知得	200手で元丈の８目勝ち
	3	寛政11年９月 ●中野知得－○本因坊元丈	262手で元丈の10目勝ち
	4	享和３年２月 ●本因坊元丈－○安井知得	149手で元丈の９目勝ち
	5	文化６年11月 ●本因坊元丈－○安井知得	233手で元丈の３目勝ち

	No.	対局	結果
D	1	寛政６年６月 ●宮重元丈－○河野元虎	139手で元丈の７目勝ち
	2	寛政７年６月 ●宮重元丈－○服部因徹	179手で元丈の中押し勝ち
	3	寛政10年11月 ●本因坊元丈－○安井仙知	264手で元丈の５目勝ち
	4	寛政11年11月 ●井上春策－○本因坊元丈	254手で元丈の５目勝ち
	5	享和２年11月 ●本因坊元丈－○井上因碩	226手で元丈の７目勝ち

E	No.	対局	結果
E	1	享和3年5月 ●山本源吉－○本因坊元丈	171手で元丈の10目勝ち
	2	文化2年4月 ●奥貫智策－○本因坊元丈	204手で元丈の10目勝ち
	3	文化9年11月 ●本因坊元丈－○林　門悦	207手で元丈の5目勝ち
	4	文化11年9月 ●水谷琢順－○本因坊元丈	150手で元丈の中押し勝ち
	5	文化13年11月 ●林　門入－○本因坊元丈	244手で元丈の13目勝ち

F		
	1	文政２年11月　287手で安節の１目勝ち ●井上安節(二子)－○本因坊元丈
	2	文政３年１月　229手で丈和の中押し勝ち ●本因坊丈和－○本因坊元丈
	3	文政６年11月　240手で元丈の３目勝ち ●林　元美－○本因坊元丈

※古典はすべてコミなしです。

■本ゲームソフトの制作にあたり、以下の書籍から引用、または参考にさせていただきました。

『囲碁年鑑』（日本棋院）
『日本囲碁体系第４巻「道的・名人因碩」』（筑摩書房）
『日本囲碁体系第５巻「道知」』（筑摩書房）
『日本囲碁体系第８巻「元丈」』（筑摩書房）

■資料提供・協力／財団法人 日本棋院

バックナンバーのご案内

下記の商品は通信販売も行なっております。詳細は㈱ヘクト 営業部までお問い合わせください。
(Tel.03-3956-1081)

将棋名鑑'93	将棋名鑑'92
全95局の 棋譜を収録！ ファミコン用ソフト 希望小売価格 6,800円	全93局の 棋譜を収録！ ファミコン用ソフト 希望小売価格 6,800円

囲碁指南'93	囲碁指南'92	囲碁指南'91
全135局の 棋譜を収録！ ファミコン用ソフト 希望小売価格 6,800円	全122局の 棋譜を収録！ ファミコン用ソフト 希望小売価格 6,800円	全110局 の 棋 譜 を 収録！ ファミコン用ソフト 希望小売価格 6,800円

■健康上の安全に関するご注意

疲れた状態や、連続して長時間にわたるプレイは、健康上好ましくありませんので避けてください。また、ごく稀に、強い光の刺激や、点滅を受けたり、テレビ画面等を見たりしている時に、一時的に筋肉のけいれんや、意識の喪失等の症状を経験する人がいます。こうした症状を経験した人は、テレビゲームをする前に必ず医師と相談してください。また、テレビゲームをしていて、このような症状が起きた場合には、ゲームを止め、医師の診察を受けてください。

株式会社 ヘクト

〒171 東京都豊島区高松1-11-16西池袋フジタビル
PHONE.03-3956-1081(代)
FAX.03-3956-7002

FOR SALE and USE IN JAPAN ONLY
本品の輸出、使用営業及び賃貸を禁じます。

ファミリーコンピュータ・ファミコンは任天堂の商標です。

©HECT 1993 MADE IN JAPAN